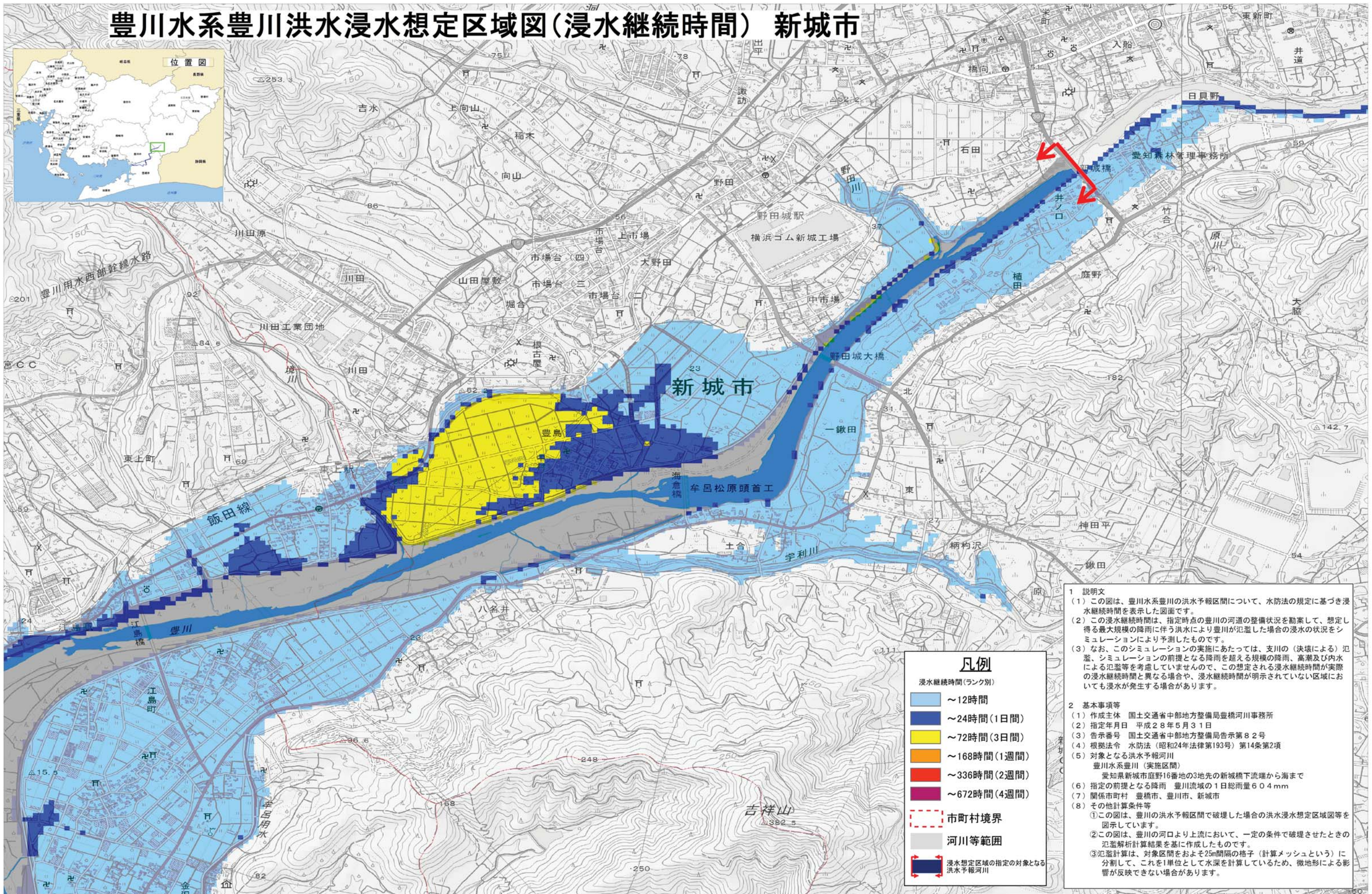


# 豊川水系豊川洪水浸水想定区域図(浸水継続時間) 新城市



### 凡例

浸水継続時間(ランク別)

- ~12時間
- ~24時間(1日間)
- ~72時間(3日間)
- ~168時間(1週間)
- ~336時間(2週間)
- ~672時間(4週間)

市町村境界

河川等範囲

浸水想定区域の指定の対象となる洪水予報河川

- 1 説明文
  - (1) この図は、豊川水系豊川の洪水予報区間について、水防法の規定に基づき浸水継続時間を表示した図面です。
  - (2) この浸水継続時間は、指定時点の豊川の河道の整備状況を勘案して、想定し得る最大規模の降雨に伴う洪水により豊川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。
  - (3) なお、このシミュレーションの実施にあたっては、支川の(決壊による)氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この想定される浸水継続時間が実際の浸水継続時間と異なる場合や、浸水継続時間が明示されていない区域においても浸水が発生する場合があります。
- 2 基本事項等
  - (1) 作成主体 国土交通省中部地方整備局豊橋河川事務所
  - (2) 指定年月日 平成28年5月31日
  - (3) 告示番号 国土交通省中部地方整備局告示第82号
  - (4) 根拠法令 水防法(昭和24年法律第193号)第14条第2項
  - (5) 対象となる洪水予報河川
    - 豊川水系豊川(実施区間)
    - 愛知県新城市庭野16番地の3地先の新城橋下流端から海まで
  - (6) 指定の前提となる降雨 豊川流域の1日総雨量60.4mm
  - (7) 関係市町村 豊橋市、豊川市、新城市
  - (8) その他計算条件等
    - ① この図は、豊川の洪水予報区間で破壊した場合の洪水浸水想定区域図等を図示しています。
    - ② この図は、豊川の河口より上流において、一定の条件で破壊させたときの氾濫解析計算結果を基に作成したものです。
    - ③ 氾濫計算は、対象区間をおよそ25m間隔の格子(計算メッシュという)に分割して、これを1単位として水深を計算しているため、微地形による影響が反映できない場合があります。

この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分1地形図を複製したものである。(承認番号 平28部複、第5号)

国土交通省 中部地方整備局 豊橋河川事務所 平成28年5月